

大分感染症研究会

第50回例会 一般演題抄録集

(日本医師会生涯教育制度適合学術集会)

(ICD 協議会認定研究会：2単位)

日時：平成24年2月23日（木） 18：30～20：30

場所：大分東洋ホテル 2F「二豊の間」

大分市田室9-20 TEL097-545-1040

例会長：大分大学医学部 総合内科学第二講座

教授 門田 淳一

共催：大分感染症研究会

エーザイ株式会社

魚骨異物による上縦隔膿瘍および食道粘膜下膿瘍をきたした1例

森山 宗仁 平野 隆 鈴木 正志 大分大学医学部耳鼻咽喉科講座
諸鹿 俊彦 武野 慎祐 大分大学医学部 第2外科学講座

症例は58歳男性、咽頭違和感を主訴に受診。2011年11月10日シマアジの煮つけを食べた後より咽頭痛が生じた。翌日近医耳鼻科受診し、喉頭ファイバーを行ったが明らかな異物認めず経過観察されていた。咽頭違和感が継続するため11月19日同耳鼻科再受診。再度喉頭ファイバー行うものの明らかな咽喉頭所見および異物認めなかったが、採血行くとCRP35 mg/dl 認めたため、同日当院緊急受診となった。既往歴、家族歴、生活歴はいずれも特記事項認めなかった。入院時発熱なく、咽喉頭・頸部ともに明らかな所見認めなかったが、採血にてWBC 19200 / μ l、CRP37.39 mg/dl と高値を認めた。CTにて、食道腔外に突出した魚骨及び上縦隔と食道粘膜下に膿瘍腔認めたため、手術にて魚骨異物摘出及び膿瘍排膿を行った。術後は抗菌薬投与により軽快し術後18日で退院となった。今回自験例及び同様の膿瘍をきたした報告例の臨床的検討を踏まえ、文献的考察を加え報告する。